

| 令和6年度第4回おいらせ町自治推進委員会 会議要旨 | |
|---------------------------|--|
| 日 時 | 令和7年1月21日（火） 13:30～15:00 |
| 場 所 | 本庁舎2階 201会議室 |
| 出席者 | 自治推進委員委員6名、事務局3名（まちづくり防災課） 出席人数：9名 |
| 次 第 | 1 開 会 2 案 件 （1） 自治基本条例の検証について （2） 今後の活動予定・意見交換 3 その他 4 閉 会 |
| 資 料 | （1） 次第、本資料 （2） 資料1 自治基本条例検証資料 （3） 資料2 総合計画後期基本計画（概要版） （4） 資料3 提言書に対する取り組み状況について |

| 次第 | 発言者 | 内容（要約） |
|-----------|-----|--|
| 1 開会 | | |
| 開会 | 事務局 | 事務局進行により開会（13:30） |
| 2 案 件 | | |
| | 委員長 | （案件に先立ち挨拶） 令和6年度も残すところ後2ヵ月となりました。検証作業そのものは本日が最終回となります。分からないところがありましたら、質問で聞いていただきたい。自治基本条例の中身を一つでも覚えて、条例を広める機会としていただければと思います。よろしくお願いいたします。 |
| 第28条 総合計画 | | |
| | 事務局 | （資料に基づき説明） |
| | 委員 | 住民説明会に人が集まらない理由の一つに、不満が無い、ということも考えられるのではないかと。 |
| | 委員長 | 特に言うことが無いため説明会にも出ない、という層はあると感じる。 |
| | 委員 | 基本計画の中に防災への取り組みが掲載されているが、避難所運営についてどうなっているのかが分からない。国からは、より充実を図るとのことだったが、どのような見直しをしていくつもりなのか。 |
| | 事務局 | 新たな指針は今後公表される流れのため、国の動向を注視していきます。 |
| | 委員 | 避難所のトイレ備蓄についても国際的なスフィア基準に照らせば不足しているといわれている。今後考えていくべき。 |

| | | |
|------------------|-----|---|
| | 委員 | 防災について、今の町の備蓄品はどのような基準で揃えているのか。ロサンゼルスの大火事のようなレベルだと、山の中腹にシェルターを作るぐらいでないと対応できないのでは。 |
| | 事務局 | 現在は大津波や十和田湖火山の噴火といった災害を想定して備蓄を行っていますが、大規模施設となると、国レベルでの取り組みが必要になります。 |
| | 委員 | 物を揃えるということも大事だが、女性や子どもの安全対策、人の安全を強化する取り組みも大事ではないか。 |
| | 委員 | 以前は防風のために杉を植える等の取り組みがあった。今であれば広葉樹を植える取り組みが防災につながるのではないか。 |
| | 事務局 | 是非、説明会等に参加して、総合計画への意見として挙げてほしい。 |
| 第39条 運用状況の検証 | | |
| | 事務局 | (資料に基づき説明) 質疑無し |
| 第40条 条例の見直し | | |
| | 事務局 | (資料に基づき説明) |
| | 委員長 | 公募への取り組みは、さらに増やしてもらいたい。 また協働についても、大学教授など複数のアドバイザーから、規模として同程度の団体同士でないと対等の関係とは言えないという意見をいただいている。町民1個人の意見が、(行政や議会と) 対等になるという趣旨ではないことを意識していきたい。同様に、町民アンケートの自由意見についても、原則は議会が町民の代表であるから、組織として行政は1町民の意見よりも議会を重視すべきだということは前提として押さえておきたい。 |
| (2) 今後の活動予定・意見交換 | | |
| | 事務局 | 次回の委員会について日程確認。 都合のつく方は、3月10日(月)から14日(金)までの期間に定例会傍聴を行う。次回委員会は3月18日(火)開催予定。また来年度の開催予定について、令和7年5月20日、令和7年7月15日、令和7年10月14日、令和8年1月20日、令和8年3月17日を候補日とする。 |
| 6 その他 | | |
| 6 閉会(修礼、散会) | | |